

第2回 学校運営協議会

令和6年9月11日

1 授業参観（2年生 鶺鴒舞の練習を参観）

- 一生懸命取り組んでいる生徒の様子を参観。楽器、踊りともにそれぞれ高めようとがんばる姿、受け継がれてきた伝統を大切に作る姿に対し、たくさんの称賛の言葉をいただいた。

2 協議

(1) 学習と生活、部活動の様子について

- それぞれに生き生きと活動する姿を写真等で紹介。生徒たちの充実した表情や姿に安心していただいた。

(2) 学校アンケートを基にした教育活動の見直し

- 保護者からいただいた意見について、共有を図った。厳しい意見もあるが、学校運営に活かしていく大きなヒントとしてとらえていくことを改めて共有した。
- 学校運営の改善につながり、多くの「建設的な意見」をいただけるようなアンケートの質問方法や質問項目も工夫していくと良いという意見をいただいた。

(3) 学校運営協議会の方々にご協力いただきたいこと

- 「キャリア教育」というのが今は求められている。その一環として1年生の総合学習で12月に予定している「職業人の話を聞く会」について、その機会に講義していただける人材紹介をお願いした。「ボランティア（無償）であること」、「15分程度でお話いただくこと」、「職種は特に問わないこと」といった条件でこれから人選を進めていくことを確認した。
 - 学校だけが教育を担うのではなく、学校運営協議会を中心とした「地域」と「家庭」との協力した学校づくりが求められている。まずはその第一歩として、今回のプロジェクトについてのご協力をお願いした。「地域学校協働活動」が充実していくため、今後もできることを検討していきたい。
- ～その他～
- 現在、「教員不足」が全国的に問題となっている。本校も現在、産前・産後休暇の職員の代替教師が未定の状態である。これに関する現場の状況も伝えた。